

学会だより

◇ 常任幹事会記録

開催日：平成 17 年 2 月 28 日

場 所：東京大学農学部

出席者：会長 喜多村啓介，副会長 谷坂隆俊，吉田薫，金澤章，渡邊和男，大澤良，高野哲夫，堤伸浩，門脇光一，川上直人，根本博，勝田真澄（今回は，臨時の常任幹事会として開催し，会長，副会長，庶務幹事，東京周辺在住の常任幹事を参加の対象とした。）

各常任幹事からの経過報告後，春季・秋季合同大会となることに伴う必要措置，筑波大会・SABRAO の開催，個人情報保護法に関する学会としての対応，一部の地方自治体による遺伝子組換え作物の栽培規制問題，イネゲノム研究成果の社会還元支援などについて討議した。

◇ 幹事会

春季・秋季合同大会の開催に伴い，今年度の春季の幹事会は，郵送ならびに電子メールを活用して行うこととした。内容に関しては次号に掲載する予定。

◇ 日本育種学会における個人情報の取扱いについて

日本育種学会では，本年 4 月から施行された個人情報保護法を遵守すべく，昨年末より取り組んでまいりました。本年度は，学会役員選挙を行う年にあたり，従来と同様，会員の皆様の名簿を作成して配布することを予定しております。このことに関連し，下記の個人情報の取扱いに関する本学会の方針を会員の皆様にお知らせいたします。個人情報の取扱いに関しましては，常任幹事会を中心として今後も引き続き検討を行っていく予定です。なお，下記の事項は，すでに第 6 巻第 4 号の配布時より入会申込書に記載をしております。

【個人情報の管理について】

頂いた個人情報については，日本育種学会が責任をもって管理し，学会の運営ならびに会員への名簿配布に必要な範囲内で利用させていただきます。また，会員相互の親睦や研究上の利便性をはかり，会の運営を円滑にする為，当学会の会員に公開することがあります。当学会は，協力会社に一部業務を委託しており，その業務に必要な個人情報を預託することがあります。

なお，個人情報の開示に関するご質問や訂正・削除のご要望，及び，当会からの連絡の停止につきましては，恐れ入りますが，下記までお申し出下さい。

【個人情報についての問合せ先】

日本育種学会事務取扱係

Tel: 075-415-3661, Fax: 075-415-3662, e-mail: jsb@nacos.com

集会の案内

◇ 第 14 回 TIARA 研究発表会—イオンビームを利用した最新の材料・バイオ研究—

イオン照射研究施設 (TIARA) を利用した研究成果の発表が行われます。会期：平成 17 年 6 月 23・24 日 高崎シティギャラリー コアホール (高崎市高松町 35 番地の 1) 参加費無料 問い合わせ先 日本原子力研究所 高崎研究所 大坪道朗 Tel: 027-346-9600, Fax: 027-346-9690, e-mail: otsubo@hems.jaeri.go.jp

なお，日本育種学会は，本講演会に協賛しています。

◇ 不二たん白質研究振興財団 公開講演会「大豆のはたらき—これからの食生活を考えるために—」

I. 開催日時：平成 17 年 10 月 27 日 (木) 午後 1 時～5 時

II. 会場：東京商工会議所 4F 東商ホール (東京駅丸の内側徒歩 10 分) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2

III. 講演内容：

1. 作物としてのダイズ—その育種における可能性— 北海道大学教授 喜多村啓介
2. 大豆加工食品の変遷と将来 岩手大学助教授 塚本知玄
3. 大豆ペプチドの栄養と生理作用 京都府立大学教授 中坊幸弘
4. 大豆たん白質成分に関する最近の進歩 京都大学名誉教授 鬼頭誠

IV. 申し込み：先着 500 名。聴講は無料。申し込み締め切り 10 月 15 日。Fax または郵送にて。

V. 問い合わせ・申し込み先：不二たん白質研究振興財団 住所：〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町 1 番地 不二製油株式会社内 Tel: 0724-63-1764, Fax: 0724-63-1756 担当：上田，福田

なお，日本育種学会は，本講演会に協賛しています。

◇ ソルト・サイエンスシンポジウム 2005

1. 開催概要

- (1) 開催趣旨：塩に関する学術，その他の情報普及と啓発
- (2) 開催日時：平成 17 年 10 月 17 日 (月) 13:00～16:40
- (3) 開催場所：早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール
- (4) 参加料：無料。参加の申込みはメールまたは Fax，電話等で事前に登録

e-mail: saltscience@mve.biglobe.ne.jp, Fax: 03-3497-5712, Tel: 03-3497-5711

2. 課題と講演内容

- (1) 課題：調理・食品加工と塩加減

(2) 講演内容

1) 和食と塩

講演者：柳原一成 懐石近茶流宗家：柳原料理教室
主宰

座長：島田淳子 昭和女子短期大学学長

2) 食生活における塩加減を考える

講演者：木村修一 昭和女子大学大学院特任教授

座長：足立己幸 女子栄養大学教授大学院研究
科長

3) パン・麺と塩

講演者：長尾精一 (財)製粉振興会参与

座長：荒井綜一 東京農業大学教授

・助成件数：70件

・助成金額総額：8,300万円

○第17回助成研究発表会

・開催期日：平成17年7月26日(火)

・開催場所：日本都市センターホテル(東京都平河町)

・参加料は無料。参加希望者は財団に電話・ファックス・
メール等で事前に申込。

○ソルト・サイエンスシンポジウム2005

「集会の案内」を参照のこと。

詳細については、財団のホームページをご覧ください。

財団法人ソルト・サイエンス研究財団 (<http://www.saltscience.or.jp>)

Tel: 03-3497-5711, Fax: 03-3497-5712, e-mail: saltscience@mve.biglobe.ne.jp

研究助成公募の案内

◇ (財) バイオインダストリー協会 平成17年度化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金候補者募集

I. 対象分野および対象者：化学またはバイオの素材に関する基礎・応用研究および利用技術開発に携わる有望な研究者

II. 対象者の資格：交付の時点で、協会の会員(個人会員、または賛助会員会社・維持会員会社の役員・従業員)であり、年齢50歳未満であること。

III. 採用件数：毎年7件以内

IV. 奨励金：1件につき50万円

V. 申込み方法：規定用紙により、応募される研究の題目およびその概要、研究者の略歴、研究論文リスト等を提出していただきますので、ご所属・ご氏名・送付先を明記の上、下記にご連絡下さい。規定用紙をお送りしますので、以下の提出期限までにご提出下さい。なお、規定用紙は(財)バイオインダストリー協会ホームページからもダウンロードできます。

VI. 書類提出締切：平成17年7月8日(金)必着 郵送でご提出下さい。(電子メールによる提出は受け付けません。)

VII. 選考方法：交付対象者は、本分野の学識経験者で構成する選考委員会において審議し、決定します。選考委員会の審議内容は公開致しません。

VIII. 問い合わせ・申込み先：(財)バイオインダストリー協会(担当：井口博史、矢田美恵子) 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 8F
Tel: 03-5541-2731, Fax: 03-5541-2737, e-mail: yata@jba.or.jp, URL: <http://www.jba.or.jp>

◇ 財団法人ソルト・サイエンス研究財団「平成17年度研究助成の決定」、「第17回助成研究発表会」および「ソルト・サイエンスシンポジウム2005」について

○平成17年度研究助成の決定

◇ 藤原セミナーの募集

藤原科学財団では、我が国の研究者が開催する自然科学分野のセミナーを対象に、その開催費用を援助した「藤原セミナー」としての開催を募集しています。

I. 対象分野：自然科学の全分野

II. 応募資格：我が国の大学等学術研究期間に所属する常勤の研究者

III. 開催件数：1件

IV. 開催費用援助額：12,000千円

V. 要件：国際的にも学問的水準の高いものであること、参加者が50～100人程度で外国人研究者が参加者の5分の1程度含まれること、開催対象期間が2006年1月1日～2006年12月31日であることなど。

VI. 申し込み受付期間：2005年4月1日～2005年7月31日(必着)

詳しくは、財団のホームページをご覧ください。藤原科学財団 <http://www.fujizai.or.jp>

各賞推薦の案内

◇ 農学進歩賞候補者推薦の依頼

このたび日本農学会加盟学会に対し、(財)農学会から農学進歩賞受賞候補者の推薦依頼がありました。つきましては日本育種学会から候補者を推薦したいと思いますので、会員の皆様からの推薦をお願いいたします。皆様からの推薦に基づき、日本育種学会賞等選考委員会が選考に当たります。推薦される方は、下記の「農学進歩賞規定」に記してある推薦書式を財団法人農学会のホームページ (<http://www.nougaku.jp/>) からダウンロードし、必要事項を記入して、下記送付先にお送り下さい。

推薦書送付先：〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究科 金澤章 Tel: 011-706-3873, e-mail: kanazawa@res.agr.hokudai.ac.jp

締切日：平成17年6月30日

日本農学進歩賞規定

趣旨：人類と多様な生態系が永続的に共生するための基盤である農林水産業およびその関連産業の発展に資するために、農学の進歩に顕著な貢献をした者を顕彰する。

- 1) 授与団体：(主催) 財団法人農学会 (共催) 全国農学系学部長会議, 日本農学アカデミー, 日本農学会, (独) 農業・生物系特定産業技術研究機構, (独) 農業生物資源研究所, (独) 農業環境技術研究所, (独) 農業工学研究所, (独) 食品総合研究所, (独) 国際農林水産業研究センター, (独) 森林総合研究所, (独) 水産総合研究センター, 全国農業協同組合中央会
- 2) 授賞対象者：当該年度の10月1日時点で、40歳未満の者。国籍は問わない。
- 3) 授賞対象分野：生命科学, 環境科学, 生物生産科学, 食品科学, 国際貢献その他を含む広義の農学分野。
- 4) 授賞件数：毎年10件程度
- 5) 推薦者：日本学術会議第6部に登録されている農学系学協会の長, 国立大学法人および公私立大学農学系学部長, あるいは産官学いずれかの研究所長が毎年1名に限り推薦できる。
- 6) 公募時期：毎年7月1日～7月31日(1ヶ月間)。
- 7) 審査：財団法人農学会に設けられた日本農学進歩賞選考委員会が審査する。
- 8) 授賞時期：毎年10～12月。シンポジウムを開催し、シンポジウムの場で表彰する。
- 9) 推薦書類：定められた様式で推薦書に必要事項を記入して、財団法人農学会事務局に、「日本農学進歩賞応募書類」と朱書きして「書留郵便」で郵送する。
- 10) 推薦書式：推薦書式は、財団法人農学会のホームページ (<http://www.nougaku.jp/>) からダウンロードできます。推薦書式は、下記の財団法人農学会事務局に、Fax または電子メールで申込むことによっても入手できます。電話はご遠慮下さい。
- 11) 問合せ先：電子メールまたはFaxで、上記の財団法人農学会にお問合せ下さい。メール発信人の氏名、所属、住所、連絡先などは必ず明記して下さい。また、電話でのお問合せはご遠慮下さい。

- 12) その他：財団法人農学会の会則、役員構成、事業内容などについては、財団法人農学会のホームページ (<http://www.nougaku.jp/>) をご覧下さい。

事務局：〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部弥生講堂内 財団法人農学会
e-mail: zaidan@nougakkai.or.jp, Tel: 03-5842-2210, Fax: 03-5842-2237

日本育種学会会員異動 (2005.1.21～2005.4.20)

- ◇ 普通会員入会：遠藤貴司 (秋田), 郷内武 (茨城), 城田雅毅 (愛知), 浅子洋一 (京都), 八反田憲生 (宮崎)
- ◇ 学生会員入会：佐藤義典 (茨城), 大橋芳, 岡安浩次, グヤシゲリゲイ, 小山いずみ, Sarhadi Ahmad, 杉本良平, タタンソピアン, 千葉典子, 綱島沙織, 鄭澤宇, BuiVanDuy, 服部玄, 宮沢裕章, U KyawSweLinn, Duong Thi Re (東京), 皿池辰徳 (福井), 池田真由子 (愛知), 松岡希宗 (佐賀)
- ◇ 外国会員入会：Kasetsart University (タイ), KOSUNG HI-TECH (大韓民国)

住所変更等

- ◇ 普通会員入会：伊藤勇樹, 熊谷健夫, 田中一生, 山田敏彦 (北海道), 津川秀仁, 本多和茂 (青森), 長谷川聡 (岩手), 高橋晋太郎 (宮城), 佐藤信之助 (秋田), 芦川育夫, 清水明美, 関昌子, 丹羽勝, 松原一樹, 松村尚和, 松本雄一 (茨城), 中澤佳子 (栃木), 栗原宏幸, 久野裕 (千葉), 大潟直樹, 川口健太郎, 多田雄一, 守口和基, 山本昭夫 (東京), 新田直人, 丸橋亘 (神奈川), 小林和幸, 田中有司 (新潟), 中村和弘 (長野), 上田善弘 (岐阜), 近藤勝彦 (愛知), 東正昭 (三重), 稲葉幸司, 今井雄大, 富永達 (京都), 奥ゆかり (大阪), 島津樹一 (奈良), 下中雅仁 (鳥取), 植木英雄 (岡山), 松下修司 (広島), 浜地勇次 (福岡), 上埜喜八 (佐賀), 荻野暁子 (鹿児島)
- ◇ 学生会員：坂田勲 (岐阜), 池田真由子 (愛知)
- ◇ 外国会員：Hiroyuki Imanishi (イギリス)